

青空に映えるナンキンハゼ(南京櫨)の実

小 関 栄

近所の家の大木に、陽に輝いて白い小粒の玉が見える。冬の青空に映えて白い華のようだ。これは何とナンキンハゼの実だった。落葉して枯れ木のようにになった枝先に、その白い実が空に映えていた。



ナンキンハゼは、葉が広卵形で先端が尖っていて春は新緑、秋は紅葉と美しいが、花や実は葉に比べ小さく、殆んど目に付かない。初夏には枝先に房状の小さな花を咲かせ、秋十月頃には小さな青い実を付ける。寒くなると次第に色が褪せたように薄褐色から白くなる。その実は小さくて葉があると見にくいですが、落葉して良く晴れた日には空の青さに映えて白い華のように浮き立って見える。(右上の写真、赤いのは落葉前の葉、11/29撮影)

ナンキンハゼも名称から見て、ハゼ(櫨)と同じウルシ科と思いがちだが、植物学的には全く別種。ナンキンハゼはトウダイグサ科の樹木で、パラゴムの木、シラキ(烏臼木)、アカメカシワの仲間の草木だそう。



原産は名前の通り中国中部で、中国全土、台湾、インドに多い。日本には明治になって渡来したもの。だが現在では九州ではかなり多く野生しているし、最近では本土の各地にも植えられて、街路樹に利用している所(吹田市など)もある。左の写真は、近くの農家が二十年ほど前に植えたナンキンハゼの木に、その葉先に小さな花を咲かせていたのを撮影(26, 7, 7)したもの。余り小さいので見えるかな。

冬空に ナンキンハゼの実 白く映え 淡水

黒ニンニクの作り方

(記 里山倶楽部 杉山卓久)

健康に良いと言われている黒ニンニクを作ってみました。食べました。甘くゼリーのような味で作り方はとても簡単です。

用意するもの

- ① 生ニンニク (炊飯器に入るだけ)
- ② 炊飯器 (ニンニクの匂いがつくので使わなくなった古いものを用意する)

作り方

炊飯器の中へニンニクを並べ、(重ねてもよい)保温スイッチを入れ、2週間でできあがり(途中、上下入れ替えた方がよい)

注意事項

通電して3日間ぐらい激しい匂いがするので家の中では無理(物置小屋に電気を引いて、2週間ほったらかしでOK)